無印良品

ソーラー電波アラームクロック
（温湿度・カレンダー機能付）

取扱説明書

●お買い上げいただきありがとうございました。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●この取扱説明書は必ず保管してください。

付属品
リチウム電池 CR123A　1個　取扱説明書（本書）　1部　保証書付

株式会社　良品計画
〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室 0120-14-6404
平日 10：00~21：00、土·日·祝 10：00~18：00

輸入元
リズム時計工業株式会社
お客様相談室 0120-557-005
（9:00~17:00 土·日·祝日および年始年末を除く）

取扱説明書番号　Z087-ZGXY(1003)

保証書

製品名　ソーラー電波アラームクロック（温湿度・カレンダー機能付）

お買上年月日

お客様 お名前

お客様 ご住所

TEL

販売店印

上記項目が未記入の場合は無効です。
〔保証期間〕 お買い上げ日より 1 年以内

■保証について

通常のお取り扱いで万一機械故障が生じました場合、保証期間中に下記までこの保証書を添えてお申し出下されば無償にて修理・調整いたします。
ただし、つぎの場合は保証期間内でも有償修理になりますのでご了承ください。
（ご使用の際はこの取扱説明書を必ずお読みください。）

1）誤ったご使用による故障、またはお取扱いの不注意による故障
2）不適当な修理や改造による故障
3）火災または天災による故障
4）ご使用中に生じる外観上の変化（本体、ガラスの傷など）
5）本保証書のご提示がない場合（電池は保証の対象外です。）

また修理の際、外観の違う代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

マークの説明

警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

禁止　してはいけない禁止行為

注意　傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される内容

強制　必ず実行していただく内容

誤飲による事故防止について

警告　小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

お取り扱いについて

分解禁止　分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

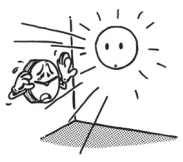
注意　本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

液晶表示板について

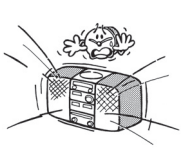
注意　表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

使用場所について

禁止　つぎのような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。



●温度が＋50℃（50 度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が－10℃（氷点下 10 度）以下になる所。プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。
●浴室など、湿気の多い所。



●ほこりが多く発生する場所。空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。
●テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
●時計を軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（＋）、マイナス（－）を間違えない。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●幼児の手が届かないところに置く 。

電池の種類について

●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
●一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意
●電池に傷をつけたり、分解しない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●時計を使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告　電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意　もれた液に直接触れないでください。
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池の交換が必要なことがあります。
●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
●買い置きの電池を使用した場合、保管期間や状態により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意　火に入れると破裂の原因となり危険です。

時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電波時計について

電波時計とは

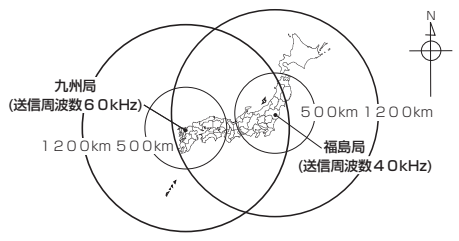
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

電源について（光発電と電池）

この時計は、電池と光発電を併用しています。明るいところでは光発電、暗いところでは電池により駆動します。
光発電を併用することにより、電池の寿命を長くしています。 1日に２００ルクスの明るさで８時間光発電をすると電池寿命が約1年延長されます。

●光発電により電池に充電をしませんので、暗いところで表示が薄くなったり、消えてしまう場合は、電池の交換が必要です。
●光発電に使用しているソーラーパネルは、屋内用ですので、直射日光を浴びると劣化して発電効率が悪くなることがあります。
●電池を入れないと正常に動きません。

光発電　Q&A

○光発電の明るさ（照度）と電池寿命の関係は
1日に８時間光発電をしたときの電池寿命への影響はつぎのようになります。

照　　度	環　境　の　め　や　す	電池寿命延長期間のめやす
100 ～ 150 ルクス	一般的なリビング	4～6ヵ月
200 ～ 300 ルクス	明るいリビング内・オフィス	8～12ヵ月
700 ～ 800 ルクス	明るいオフィス	約2年

一般的な家庭の環境では、1日の明るさは外光などの影響により変化します。
1日あたりの光発電をする時間が長くなると電池寿命も長くなります。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

液晶表示について

電源スイッチをOFFに切り替えたときや電池を外したとき、液晶表示の一部がすぐに消えないことがありますが故障ではありません。そのまま放置しておくと自然に消えます。
電池を交換したときや電源スイッチをONにした後は、必ずリセットボタンを押してからご使用ください。

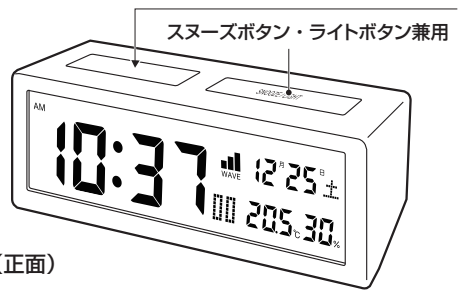
おもな製品仕様

使用温度範囲	－10 ～50℃
	液晶表示可読温度範囲0～40℃
時間精度	表示精度
	標準電波受信直後　±1秒
	標準電波を受信しない場合
	平均月差 ±30 秒
	（常温中のクオーツ精度）
使用電池	リチウム電池 CR123A　1 個
光発電	アモルファスシリコン ソーラーセル 屋内用
電池寿命	光発電と電池併用で約6年
	（200Lxで1日8時間光発電した場合）
	電池のみで約5年
	アラームを30秒 / 日、
	照明を3秒 / 日　使用した場合
標準電波	標準電波受信により自動時刻修正
	受信回数　1日2～3回
	福島局 / 九州局自動選択
	電波受信機能ON／OFF切り換え
表示の切り換え	12時間 /24時間制表示切り換え
	時刻、日付表示位置切り換え
アラーム	アラーム精度 表示時刻に対して ±0秒
	アラーム音　電子音（鳴り方が変化）
	スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）
	オートストップ（自動停止）
カレンダー	2008 ～ 2099 年まで対応
温度表示	表示範囲　－9.9～ +50℃
	測定温度範囲での精度　±2℃
湿度表示	表示範囲　20～95%
	（温度5～50℃の範囲）
	測定湿度範囲での精度　±10%
照明	ライトボタンを押すと約3秒液晶表示面を照明

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。４０℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

1 時刻を合せる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



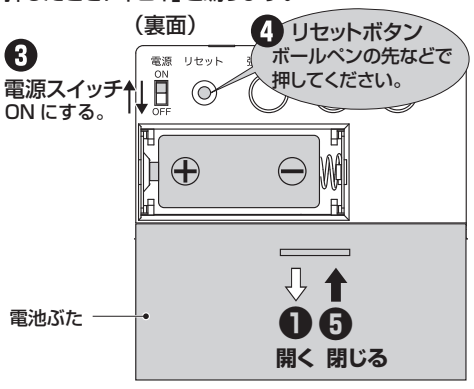
（正面）

●液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

電池を交換するときは

電源スイッチをOFFにしてからCR123Aを交換し、手順❸に進んでください。

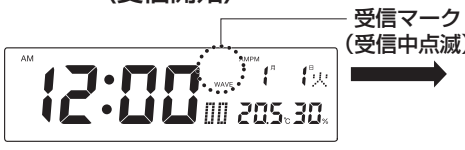
電源スイッチをONにしたときとリセットボタンを押したときに「ピィ」と鳴ります。



【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉

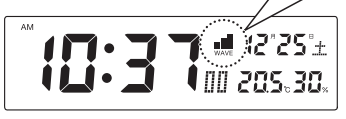
〈受信開始〉



※電池を入れた直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日　午前12：00、アラーム時刻 午前6：00に設定されます。

最長20分後
〈受信終了〉

受信に成功すると受信マークが点灯



（受信に**成功**したときの表示例）

受信マークは受信成功後、24～25時間点灯

受信マーク消灯
失敗！

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

（受信に**失敗**したときの表示例）

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- ●金属製の雨戸やブラインドの近く
- ●ビルの地下など
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- ●朝夕の時間帯、雨天のとき
- ●家電製品や OA 機器の近く
- ●スチール机等の金属製家具の上や近く

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。電波受信機能をONのまま使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

表示面の照明

時計上部にあるスヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明時は正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

表示の切り換え　時刻/日付切換ボタン、12/24h切換ボタン

時刻/日付優先表示切り換え

時刻/日付切換ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り換えることができます。

12時間制 /24時間制表示切り換え

12/24h切換ボタンを押すと、AM/PM 表示付き12時間表示と24時間表示が切り換わります。

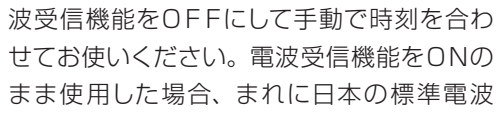
時刻/日付切換 時刻/日付切換ボタン

〈時刻優先表示〉 ⇄ 〈日付優先表示〉

12/24h切換 12/24h切換ボタン

AM：午前
PM：午後

〈12時間表示〉 ⇄ 〈24時間表示〉



※つぎのようなときは切り換えができません。

●電波の受信中　●アラームが鳴っているときやスヌーズ中　●アラーム時刻や現在時刻を設定しているとき

温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味　※アラームスイッチがONのときは温湿度を表示しません。

温度「HH.H」50℃より高温　「LL.L」−9.9℃より低温

湿度「HH」95%を超える　「LL」20%未満　「– –」測定不能（温度が5～50℃の範囲外）

㊟本製品は室内用ですので、室内の温湿度の計測以外の目的では使用できません。また厳密な温湿度管理を行う用途には適していません。

電池の交換について　早めに交換して液もれを防ぎましょう

注意

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

●液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

ソーラーセル

光が当たると発電します。影になったり、表面が汚れると発電効率が悪くなります。

㊟寝室や窓のないところでは十分な明るさが得られないことがあります。

1日に200ルクスの明るさで8時間光発電すると約1年電池の寿命が延びます。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、3 電波を受信できない場合 の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ **電池ぶたを開ける**

❷ **電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池が入っているか確認する**
※電池を逆向きに入れると動きません。

❸ **電源スイッチをONにする**

❹ **リセットボタンを押す**

受信マークが点滅し受信を開始します。

◎受信中はボタンに触れないでください。

◎誤作動防止のため、電池を入れて電源スイッチをONにした後に必ずリセットボタンを押してください。

❺ **電池ぶたを閉じる**

❻ **受信結果を確認する【受信の流れと表示】**参照

受信時間は最長で20分程度です。

受信マークで受信結果を確認してください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に +/−ボタン、アラームモニターボタンまたは時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）

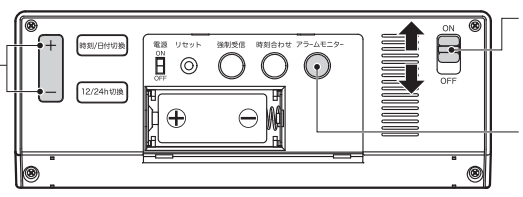
受信できない ➡ 受信しやすい

① WAVE　② WAVE　③ WAVE　④ WAVE

チェック！

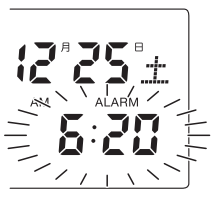
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

2 アラーム機能の使い方



（裏面）

■ アラーム時刻の合わせ方



〈**表示例**　アラーム午前6時20分　アラームスイッチOFF〉

◆AM（午前）/PM（午後）の表示に注意

表示されていない場合は24時間制の表示です。

①+または−ボタンを押す

「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。

②アラーム時刻を合わせる

+または−ボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると早く変わります。

③アラーム時刻合わせを終わる

およそ5秒間ボタン操作をしない。

■ アラームのON/OFF設定

〈アラーム ON〉

〈アラーム OFF〉

（(•)) アラームマークが点灯し、アラーム時刻を表示

温度・湿度を表示

アラームスイッチ ON：設定時刻にアラームが鳴る

▶アラームマーク (•) が点灯

アラームスイッチがONのときは、アラーム時刻が表示されます。温度・湿度を確認するときは、アラームスイッチを OFF にしてください。

アラームスイッチ OFF：アラームを止める、鳴らさない

▶アラームマークが消灯し、温度・湿度を表示。

■ アラーム音の試聴……（アラームモニターボタン）

アラームモニターボタンを押すとアラーム音が約 2 分間鳴ります。アラームが鳴っているときに再度アラームモニターボタンを押すと停止します。

アラームオートストップ機能……（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能……（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、時計上部にあるスヌーズボタンを押すと、アラームマーク (•) が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク (•) は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームマーク (•) が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

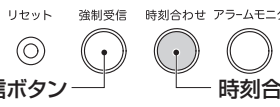
3 電波を受信できない場合

●**朝までそのままにしておく**

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●**場所を変える／受信をやり直す**

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波送信所に向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。



受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

■ 手動での時刻の合わせ方

⑴時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。

⑵西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。

▶**+または−ボタン**を押して数値を合わせます。押してすぐ離すと1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。

▶**時刻合わせボタン**を押すとつぎのステップに移ります。

●電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

☞（電波受信機能のON／OFF操作）参照

●**約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。**

●電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。

●時刻表示は12／24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。

●電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

操作例. 2010年12月25日　午前10：37に合わせる

①時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、西暦年が点滅します。

②+または−ボタンで「年」を「2010」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。

③+または−ボタンで「月」を「12」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。

④+または−ボタンで「日」を「25」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。

⑤+または−ボタンで「時」を「10」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。

⑥+または−ボタンで「分」を「37」に合わせます。このときに、+または−ボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。
時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。

▶押すタイミングは「ピィ」と鳴ったらすぐに押す。

○**受信機能がOFFになるとリセットボタンを押しても「ピィ」と鳴りません。**

○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFF が切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

−ボタンを押しながら、**リセットボタン**を押すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後に**−ボタン**を離してください。

○**受信機能が有効なときに、リセットまたは強制受信ボタンを押すとWAVEマークが点滅して受信を開始します。**

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

つぎのようなときは受信を開始しません。

●アラームが鳴っているときやスヌーズ中

●手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。受信機能がONのときは受信を開始します。